

笑いと健康を求めて
大野浪曲会

玉川太福独演会

新作と古典の二つの浪曲をお楽しみください

日時 令和 4年 7月 9日(土)開演 13:00 (開場12:30～)

木戸銭：1,000円 会場：大野町総合町民センター
2階 シアター

全席自由席 未就学児の入場はご遠慮ください

6月11日(土)から総合町民センターで販売(9時～17時 休館日除く)



撮影 御堂義乗

浪曲師 玉川 太福 たまがわだいふく

一般社団法人日本浪曲協会

■経歴

平成19年(2007年)3月 二代目玉川福太郎に入門
平成25年(2013年)10月 浅草木馬亭にて名披露目

■受賞歴

平成27年(2015年)12月「第1回渋谷らくご創作大賞」受賞
平成29年(2017年)12月「第72回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞」受賞
令和2年(2020年)9月「第37回浅草芸能大賞新人賞」受賞
令和4年(2022年)3月「令和3年度花形演芸大賞銀賞」受賞

曲師 玉川 鈴 たまがわりん

一般社団法人日本浪曲協会

■経歴

入門：2020年3月26日 師匠 玉川みね子
初舞台：2020年8月1日
木馬亭初出演：2021年1月1日



■浪曲とは

浪曲(ろうきょく)とは、明治時代初期から始まった演芸の一つ。「浪花節」(なにわぶし)とも言い、三味線を伴奏に用いて物語を語ります。

浪花節の起源は800年前とも言われ、古くから伝わる浄瑠璃や説経節、祭文語りなどが基礎になって、大道芸として始まりました。その後明治時代初期、大阪の芸人・浪花伊助が新しく売り出した芸が大うけして、演者の名前から「浪花節」と名付けられました。以後、桃中軒雲右衛門や二代目広沢虎造の活躍で戦前まで全盛を迎えます。

庶民的な義理人情に訴える作品の他、武芸物、出世物、任侠物、悲恋物、ケレン物と呼ばれるお笑いなど多種多様で、親子の愛、師への尊敬、忠義、礼節など…次世代に伝えたい「誇るべき日本」の姿を肩の張らないスタイルで表現しています。

現在、浪曲の定席は東京都台東区浅草の「木馬亭」と、大阪府大阪市天王寺区の「一心寺門前浪曲寄席」があります。

感染症を防ぐために ご来場される皆様へのお願い

- 発熱や咳などの症状が見られる方はご来場をお控えください。●ご来場の際はマスクの着用をお願いします。
- 入場時の検温、手指消毒にご協力ください。●37.5度以上の発熱が認められるお客様はご入場いただけません。

お申込み・お問い合わせは
大野町総合町民センター

主催／大野町総合町民センター管理運営共同体

揖斐郡大野町黒野990 TEL 0585-32-1111

受付時間 9:00～17:00 (休館日月曜日を除く)



<https://www.ono-kaki-bara-plaza.jp>